

熊本学園大学 学生会館



外観

学生会館は、1996(平成8)年に竣工。学生のための会議室、練習室などを備え、学生生活を支援するグリーンキャンパスカウンター、コンビニ、理美容室、写真店などを配置。常時学生が集う憩いの場となっている。



1Fトイレ入口

トイレの入口には、内部の配置がひと目でわかる案内板を掲示。さらに、遠くからでも判断しやすいようにピクトデザインを大きめに表示。1Fにラウンジがあることから、明るい空間を意識した内装にしている。



1F男性トイレ 入口

着色された大きな人型イラストにより、トイレへの誘導がひと目でわかるように表示。入口そばにベンチを設け、大きな手荷物置きや学生同士のコミュニケーションの場、さらには休息の場としても活用している。



1F男性トイレ 洗面コーナー



すっきりとした洗面コーナーには、カウンターとボウルに継ぎ目がなく、清掃性に優れたボウル一体形タイプのカウンターを採用。水栓は、「きれい除菌水」が搭載された自動水栓を設置している。



1F男性トイレ スタイルリングコーナー

洗面コーナーの横には、大きな荷物が置けるよう配慮されたスタイルリングコーナーを設けている。



1F男性トイレ 小便器コーナー

性的マイノリティやプライバシーに配慮し、小便器の間に、顔まで隠れるよう高さ2mの仕切りを設置。また、防犯や気分が悪くなった学生のために、呼出ボタンを立ち位置正面のわかりやすい場所に設けている。

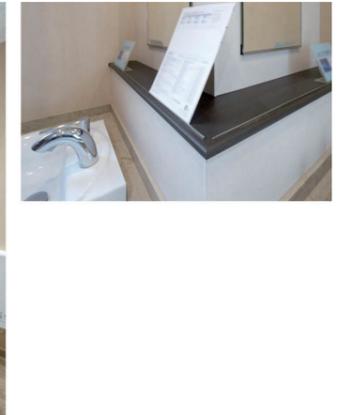


1F女性トイレ 全体

明るく開放的な女性トイレ。大便器ブースが空くの待つ間に「プレスタイルリングコーナー」としても使用できるよう、通路の壁に円形の化粧鏡をランダム風に配置。楽しさと若々しさを演出している。



1F女性トイレ 洗面コーナー

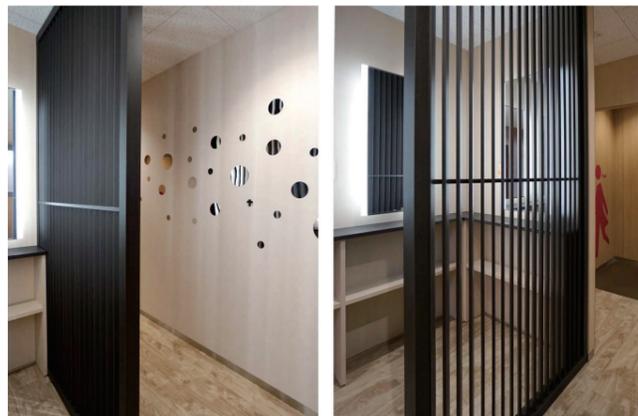


衛生面に配慮して、自動水栓とオートソープディスペンサーを設置した洗面コーナー。洗面器の正面鏡下には手荷物の落下やずれ落ち防止のバーを埋め込み造作している。



1F女性トイレ スタイルリングコーナー

手荷物や大きな荷物が置ける、スタイルリングコーナー。お化粧直しに配慮して、顔全体に光が均一に当たるよう設計されたLED照明付の個別鏡を設置している。



1F女性トイレ スタイルリングコーナー

プレスタイルリングコーナーとスタイルリングコーナーの間にはルーバーのスクリーン壁を設置。並んでいるときにはお化粧直しの様子が見えにくくなるようルーバーの角度一本一本にまで、細やかにこだわっている。



1F女性トイレ 大便器ブース



コンパクト設計にこだわり、連続洗浄可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を設置。学生の着替えの要望に応え、ブース内にはフィッティングボードや荷物置き台を設置。学生から好評を得ている。



1Fバリアフリートイレ



大学生だけでなく付属中高、幼稚園の保護者の利用があることから、ベビーカーを設置。さらに、障がいのある学生へヒアリングを実施し、どのような身体状況であっても困らないよう多目的シートを準備している。

熊本学園大学 学生会館



2・3Fトイレ入口

入口サインは、若々しくカラフルでお洒落なデザイン。ドアにすりガラスの窓を設け、トイレの内外ともに人の気配が感じられるように配慮している。



2・3F女性トイレ
洗面コーナー

洗面コーナーはベニンシュラ型にし、正面の棚や横のスペースに手荷物などを置いてから、両手でしっかり手洗ができるよう配慮した。



2・3F女性トイレ
スタイリングコーナー

隅を利用したひとり用のスタイリングコーナー。顔全体を美しく照らし、化粧直しがしやすいLED照明付鏡を設置し、さらに、身だしなみをチェックできるように隣に全身鏡を設けている。



2・3F女性トイレ
大便器ブース



環境に配慮し、4.8L洗浄の節水便器を採用。二度流しを防止する音姫（擬音装置）機能を搭載したウォッシュレットを設置している。さらに、バリアフリー配慮として全ブースにL型手すりを設けている。



2・3F男性トイレ
洗面コーナー

通路幅を確保するため、奥行きがスリムなボウル一体タイプのマーブライต์カウンターを採用。さらに「きれい除菌水」が搭載された自動水栓と自動水石けん供給栓を設置している。



2・3F男性トイレ
スタイリングコーナー

洗面カウンターとあわせ鏡にならないよう、コーナー全体を斜めに配置。さらに、飛沫対策を意識して、各カウンターに仕切りを設けている。入口付近には全身鏡も設置している。



2・3F男性トイレ
小便器コーナー

シンプルなデザインと節水機能を両立した壁掛型の自動洗浄小便器を採用。プライバシーに配慮し、小便器には高さ2mの仕切りを設置、さらに呼出ボタンも設置している。



2・3F男性トイレ
大便器ブース



入口サインとあわせ同色のカウンターを設置。便器の洗浄は非接触にこだわってセンサー式を採用した。さらに全ブースに防犯対策として呼出ボタンを設置している。



4Fトイレ入口

大きなイラストと色分けにより、男女トイレとバリアフリートイレの入口がひと目でわかるようにしている。



4F男性トイレ 全体

ダークな木目で落ち着いた印象の空間。清掃性に配慮した壁掛型の自動洗浄小便器を採用している。



4F男性トイレ
洗面コーナー



カウンターとボウルに継ぎ目がなく、清掃性に優れたボウル一体タイプのカウンターを設置。すべての洗面カウンター上部には、手荷物の落下やずれ落ち防止のバーを埋め込み造作している。



4F男性トイレ
小便器コーナー

性的マイノリティやプライバシーに配慮し、小便器には高さ2mの仕切りを設置。顔が隠れる高さにこだわった。さらに、防犯や気分が悪くなった学生のために、呼出ボタンを立ち位置正面のわかりやすい場所に設けている。

熊本学園大学 学生会館



4F男性トイレ
大便器ブース

タンク式と同じ給水口径15A配管で、フラッシュバルブ式同様の連続洗浄ができるパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を設置。手すりは木目調とし、上質さも演出している。



4F女性トイレ 入口

淡いピンクのかわいらしいサイン。サインは入る方へ向きを揃え、入口への誘導とともに、楽しさも演出している。



4F女性トイレ
洗面コーナー

手洗い後の水垂れを抑えるため、洗面器の間にクリーンドライ(ハンドドライヤー)を設置。照明は、ペンダントライトを用いることで、リラックスできる空間を演出している。



4F女性トイレ
ひろびろブース

ひろびろブースには、大きなバッグを置いたり、着替えや休息できる配慮としてベンチを設置。さらに防犯対策として、ブース扉下の隙間を30mmで統一している。



4Fバリアフリーストイル

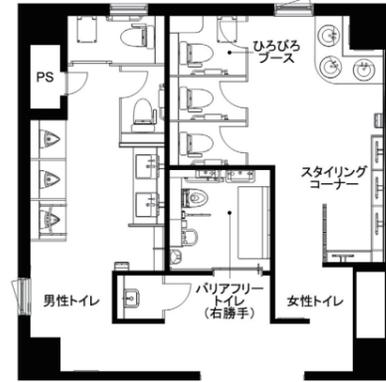
車いす使用者やオストメイトに配慮して、汚物流しを備えたコンパクト多機能トイレパックを設置。1Fのバリアフリーストイルと設置向きを変え、左右勝手に対応している。



改修前

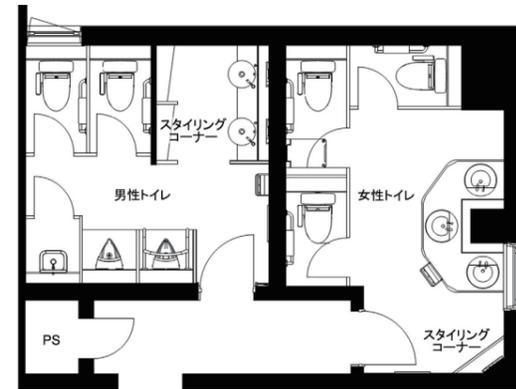


老朽化が問題になっていたため、思い切った改修を実施。和式便器を残す要望もあったが、嗜好を尊重するよりユニバーサルデザインの思想を重んじ、全洋式化に統一した。



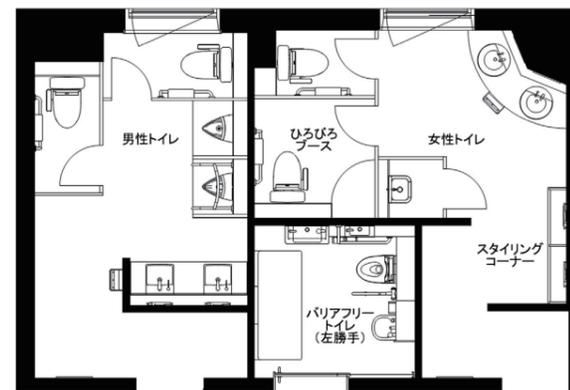
1Fトイレ図面

男女ともにひろびろブースを設け学生の利用ニーズに即した1Fトイレ。特に男女ともにスタイリングコーナーを設置し、動線における視線、映り込みなど、細かい配慮が施されている。



2・3Fトイレ図面

ペニンシュラ型の洗面カウンターで楽しさを演出。男性スタイリングコーナーは、空間を有効活用し、洗面コーナーとあわせ鏡とならないよう角度を変えている。プライバシー配慮として、小便器には仕切りを設けている。



4Fトイレ図面

バリアフリーストイルは、1Fと左右勝手違いで設置し、さまざまな身体状況の方に配慮。また、女性トイレのひろびろブースには、荷物を置いたり、着替えなどができるしっかりとしたベンチを設置している。

水まわりの特長

改修の経緯

「熊本学園大学」は、1942(昭和17)年に「師弟同行」「自由闊達」「全学一家」の三つの建学の精神を礎に、地域に根ざし世界に飛躍する人材の育成を目指す、歴史ある文系総合大学の伝統校。附属中学・高校、幼稚園を併設。このたびトイレが改修された学生会館は、1996(平成8)年に竣工し25年が経過。学生のための会議室、練習室、ホールを備え、学生生活を支援するグリーンキャンパスカウンター、コンビニ、理美容室、写真店などを配置。常時学生が集い、学校関係者も多く利用する憩いの場となっている。老朽化が進み、和式便器の残るトイレから、学生の満足度向上を目的に、時代に即したトイレへの改修を実施。明るくデザイン性の高いトイレ空間に仕上がっている。

トイレの特長

改修を機に、和式便器をすべて洋式便器に変更し、さらに衛生面に配慮した非接触型の器具や、抗ウイルス材の内装材が採用された。大便器は、混雑を考慮して、連続洗浄可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用し、洗浄リモコンは非接触。洗面の自動水栓は「きれい除菌水」を搭載したタイプを採用し、清潔な空間を維持しやすいトイレとなっている。また、荷物が多い学生に配慮し、すべてのライニングにはすべり止め防止のストッパーを設けたり、一部のブース内にはベンチを設置。さらに女性トイレだけでなく男性トイレにもスタイリングコーナーを設置。小便器に仕切りを設けるなど、快適性はもとより性的マイノリティにも配慮したトイレに生まれ変わった。

建築概要

名称	熊本学園大学 学生会館
所在地	熊本県熊本市中央区大江2-5-1
施主	学校法人熊本学園 熊本学園大学
設計協力	TOTO株式会社
施工	株式会社 竹中工務店
竣工年月	(改修)2021年10月
敷地面積	99.219.02㎡
建築面積	923.81㎡
延床面積	3,854.75㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地下1階、地上5階

おもなTOTO使用機器

- パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498BM
- ウォシュレットP:TCF589AE
- 自動洗浄小便器:UFS900R
- マーブライトカウンター(ボウル一体タイプ):MK50、MC30
- 洗面器:LS704C、LS704CM
- 台付自動水栓:TENA40AJ
- 自動水石けん供給栓:TLK07S03J
- クリーンドライ(ハンドドライヤー):TYC420W
- コンパクト多機能トイレパック:UADAZ21R1A1ADD2WA、UADAZ21L1A1ADD2WA
- 収納式多目的シート:EWC520BRS
- ベビーチェア:YKA15S
- フィッティングボード:YKA41系
- LED照明付鏡(化粧照明タイプ):EL80019、EL80016
- パブリック用手すり:T114CL9、T114CU22